

令和7年度 地域経済動向調査票（調査対象期間：令和7年4月～令和7年9月）

I. 業種をお答え下さい。（○で囲んで下さい。）

小売/卸業

II. 貴社の業績等（令和7年4月～令和7年9月）は、前年同期と比較してどうですか。

各設問の回答項目を○で囲んで下さい。また、下段には回答内容の要因・事由等をご記入願います。

①売上高

- ・増加 : 3
- ・横ばい : 7
- ・減少 : 10

※増加・減少要因を教えてください。

- ・増加 : 商品値上
- ・横ばい :
- ・減少 : そもそも売上ゼロ成長の社会では30 来客数の減少 既存顧客の営業不振 天候が激変する状況 物価高で単価の大きな品物は売れない 競合店の出店により客数が前年比80 酒店ですが数多くの大型店スーパーディスカウントにますます対応不可能

②製品・商品単価

- ・上昇 : 15
- ・横ばい : 4
- ・下降 : 0

※上昇・下降要因を教えてください。

- ・上昇 : 仕入が上がったから（相場も上がっているから）、天候、卸値がすべて値上がりしている、原料・資材等の値上げによる 価格単価高止まり、原価の高騰による、全てに連鎖反応で、どうにもならないのではないかと、メーカーの受注生産体制
- ・横ばい : 物流コスト。原料高騰
- ・下降 :

③原材料・仕入価格

- ・上昇 : 16
- ・横ばい : 4
- ・下降 : 0

※上昇・下降要因を教えてください。

- ・上昇 : 皆押されて値上げしているだけ、物流コストや原料高騰、仕入単価の上昇、輸入先の情勢不安定、価格単価高止まり、原材料の高騰
- ・横ばい : 商品は回転に徹するため、過剰在庫をしないように注意しているので答えなし
- ・下降 :

④製品・商品在庫

- ・過剰 : 2
- ・適正 : 15
- ・不足 : 3

※過剰・不足要因を教えてください。

- ・過剰 : 販売不振による売れ残った在庫の過剰あり。新商品への切り替えのスパンが早く在庫になってしまう
- ・適正 :
- ・不足 : メーカーより入荷しない、品不足

⑤労働力（従業員数）

- ・過剰 : 0
- ・適正 : 16
- ・不足 : 3

※過剰・不足要因を教えてください。

- ・過剰 :
- ・適正 : 家内労働の為解答なし。毎日が日曜日です
- ・不足 : 社員の高齢化対応、仕事の共有化へ

⑥労働力（従業員数）の今後の予定

- ・増員する（したい） : 5
- ・不変 : 14
- ・減員する（したい） : 0

※増員・減員要因を教えてください。

- ・増員する（したい）： 新規事業への人員確保、販売先の確保や継続的な人材の確保、人手不足
- ・不変： 現状維持
- ・減員する（したい）：

⑦生産・営業用設備

- ・過剰： 0
- ・適正： 18
- ・不足： 1

※過剰・不足要因を教えてください。

- ・過剰：
- ・適正： 皆押されて値上げしているだけ、現状維持
- ・不足：

⑧生産・営業用設備の今後の予定

- ・増強する（したい）： 4
- ・不変： 15
- ・縮小する（したい）： 0

※増強・縮小要因を教えてください。

- ・増強する（したい）： 新商品導入
- ・不変： 売上微小ですがお客様に助けられている
- ・縮小する（したい）：

⑨資金繰り

- ・余裕がある： 0
- ・普通： 14
- ・苦しい： 5

※要因を教えてください。

- ・余裕がある：
- ・普通：
- ・苦しい： 売上ゼロ成長だからでしょう、売上の減少による、売上微小ですがお客様に助けられている

⑩事業所の業況（来期の見通し）

- ・良くなる： 4
- ・変わらない： 11
- ・悪くなる： 4

※要因を教えてください。

- ・良くなる： 売上の減少、今年度は集客を強化して次年度に繋がる努力をしたい
- ・変わらない： 建設設備は更に苦しいと聞いている。入札も競争率何倍と
- ・悪くなる： 価格の上昇、来客がますます減少すると推測されます、商品単価up。人件費の増大

⑪経営上の課題（□にチェックしてください。複数回答可）

- 1 売上・受注の停滞・不振： 12
- 2 求人・人材難： 3
- 3 競争の激化： 5
- 4 店舗・設備の老朽化： 7
- 5 経費の増加： 11
- 6 燃料・原材料等の増加： 6
- 7 経営の合理化： 1
- 8 人件費の高騰： 8
- 9 生産・販売力の不足： 4
- 10 販売価格の値上げ・値下げ： 9
- 11 資金繰り・借入難： 1
- 12 立地条件の悪化： 2
- 13 在庫の過大・過少： 0
- 14 設備の過剰・不足： 0
- 15 その他： 1（人口減少）

⑫上記⑪に関連して、期待する支援（□にチェックしてください。複数回答可）

- 1 経営課題に関する補助金の充実： 9
- 2 専門家派遣支援： 1
- 3 支援情報の発信強化： 4
- 4 既存制度の改正： 5
- 5 インフラ設備の充実： 2
- 6 事業承継に係る支援： 3

- 7 異業種間交流支援 : 0
8 栗原市内のビックデータの提供 : 3

【具体的要望】

- ・プレミアム商品券の配布をまた例年通り2月くらいにお願いします